



議会だより

No.200

令和7年11月1日発行  
埼玉県嵐山町



# らんざん



## 創刊200号記念特集



## ～ 200号 記念に寄せて～

このたび、嵐山町議会だよりは、節目となる第200号を発刊することができました。  
昭和から平成、令和へと時代が移り変わる中、町民の皆さまに議会の動きをわかりやすくお伝えするため歩みを重ねてまいりました。これもひとえに、日頃よりご支援とご理解をいただいている町民の皆さまのおかげであります。これからも、議会と町民をつなぐ架け橋として、さらに読みやすく、親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。

令和7年第3回定例会傍聴者 33人

議員が編集した手づくり議会だよりです。こちらからご覧になれます。⇒







## 145号 平成24年2月発行 議会基本条例施行

- ★請願・陳情審査において、必要に応じて提出者から説明を聴く機会を設ける。
- ★開かれた議会を目指して、議会モニター制度を取り入れる。現在、10名の方が議会モニターとして活躍中。

令和7年より各地域に出向いて  
意見交換する試みを開始  
志賀2区との意見交換会=R7.7.26 (写真)



をめざして～

のあゆみ



## 146号 平成24年5月発行 第1回議会報告会 お知らせ

## 147号 平成24年8月発行 第1回議会報告会開催



## 168号 平成29年11月発行 議場コンサート開催

議会から条例を制定



## 168号 平成29年11月発行 「嵐山町ぽい捨てゼロできれいな 町づくり条例」制定



## 177号 令和2年2月発行 議場コンサート開催



## 議会だより (議会報) 第1号

昭和51年  
1月24日創刊号

145号



©嵐山町2011

### 議員定数の変遷

昭和58年 26→24人	昭和62年 24→22人	平成7年 22→20人
平成15年 20→18人	平成19年 18→14人	令和元年 14→13人

2025.11-1

～開かれた議会

# 議会だより



**198号** 令和7年5月発行  
**ハイスクール議会開催**



**議会から条例を制定**

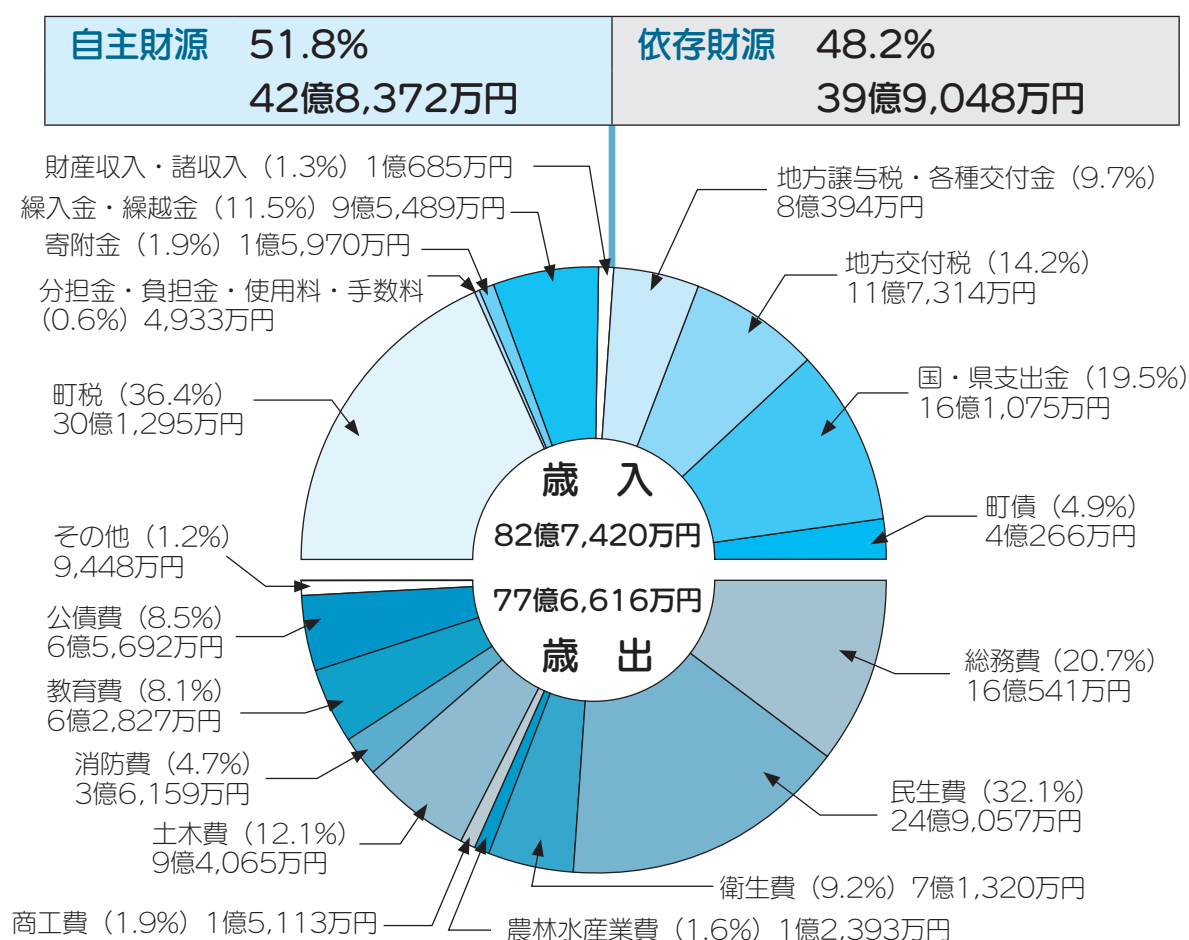
**182号** 令和3年5月発行  
**「嵐山町太陽光発電設備の設置及び  
管理等に関する条例」制定**

# 令和6年度決算 一般会計 特別会計 公営企業会計 を認定

- 9月8日から11日まで開かれた決算審査特別委員会（委員長：伏守勝義、副委員長：佐藤弘美）において審査し、一般会計、特別会計、公営企業会計ともに認定されるべきものと採決されました。
- 各議員から町への質疑は235件、総括質疑は5人から19件ありました。

## 一般会計の概要

※1万円未満は四捨五入を行っているため、数値の合計等が合わない場合があります。



### 監査委員意見要旨

令和6年度においては、実質単年度収支が約7000万円の黒字に転じ、財政調整基金も一定程度積立てが確保され、積立基金の残高も前年度と比較して約2億9000万円増加している。また、町債残高も、前年度と比較して約2億3600万円減少しており、財政状況は改善傾向にあるといえる。

しかし、今後、学校再編に係る多額の支出が見込まれるなか、本庁舎、健康増進センター等の施設の改修等も課題となっており、今更に厳しい財政運営となることが予想される。

こうした改修への積立ても計画的に行い、10年後、20年後を見据えた持続可能な財政運営に務めていただきたい。

監査委員 原 義彦  
監査委員 青柳 賢治



## 決算審査特別委員会

## 防 災

**Q** ドローン講習は受講者全員が資格取得をしたのか。

**A** B&G財団の事業を活用し、町からの提案事業として実施したもので、法令等の座学と操作体験をする内容である。

## 学校教育

**Q** 学校教育―IT事業修繕費の内容は。

**A** 児童生徒が使用している学習用タブレット端末の修理費用。

## 子育て支援

**Q** 6年10月からの児童手当拡大による影響は。

**A** 改正前9月の受給世帯数は856世帯、児童1315人、支給額1479万円。改正後2月では1058世帯、児童1718人、支給額2209万円となり、202世帯403名、約730万円の増となった。

## 高齢者福祉

**Q** 高齢者外出支援タクシーの地域別利用状況は。

**A** 中部地域（菅谷・川島・志賀・むさし台・平沢）746人、南部地域（遠山・千手堂・鎌形・大蔵・根岸・将軍沢）77人、北部地域（古里・吉田・越畑・勝田・広野・杉山・太郎丸）75人、合計898人。

## 農業者支援

**Q** 農業者フォローアップ事業の内容は。

**A** 農業者生産体制の強化と経営の安定を図り、魅力ある農業環境を整備する目的で推進している。意欲ある町在住の農業者で認定農業者、認定新規就農者、農協直売所の組合員を対象に総額で678万円の補助を実施した。

## 特別会計・公営企業会計概要

区分	項目	歳入	歳出	差引額	被保険者数	区分	項目	水道事業会計		下水道事業関係	
								予算額	決算額	予算額	決算額
特別会計	国民健康保険	19億3,224万円	18億3,793万円	9,431万円	3,267人	公営企業会計	収益的収入	5億3,206万円	5億4,113万円	6億3,319万円	6億4,258万円
	後期高齢者医療	3億1,570万円	3億1,180万円	390万円	3,406人		支出	4億8,929万円	4億4,723万円	5億9,421万円	5億7,335万円
	介護保険	16億5,537万円	15億9,057万円	6,481万円	5,933人		資本的収入	3億9,494万円	3億7,883万円	2億8,910万円	2億2,675万円
							支出	4億5,768万円	4億6,904万円	3億6,544万円	3億911万円

※1万円未満は四捨五入を行っているため、数値の合計等が合わない場合があります。



第3水源にある  
エアータンパー  
(水撃防止装置)

## 下水道事業

**Q** 電気料金値上がりの影響は。

**A** 電気を使用する施設は7か所のマンホールポンプ場で、営業費用のうち電気料金の占める割合は、0・67%。料金が値上げされれば、少なからず経営に影響はある。

## 水道事業

**Q** 供給単価・給水原価増額の理由は。

**A** 4・5年度は基本料金減免事業を実施していたため、給水収益が減少し、供給単価が増となった。また、令和以降、事業費用（経常費用）が増加していることが給水原価増額の主な原因である。

## 決算審査特別委員会



## 令和6年度決算 一般会計討論

議員の主張 ～私は賛成・反対しました～

## 反対 (川口 浩史 議員)

学校再編後、教員が小学校で13人、中学校で4人も減る。その分教員の目が行き届かなくなる。

七郷小学校は不登校がゼロだ。教員の目が行き届くからだ。

また、学校を「特に重要な施設」と位置づける条例が近隣にはあるが、本町にはない。条例制定してから「学校設置条例改正」の提案をすべきなのに強行した。認めることはできない。

## 賛成 (小林 智 議員)

町の自主財源としてふるさと納税では、令和6年度実績は5053件、1億3717万円となり、千年の苑事業等への活用のほか、ふるさと基金への積立は、PR効果と相まって町の大きな資産となっている。一方、武蔵嵐山小中学校新校舎の整備、川島産業団地の整備等、大きな資金需要が控え、今後の財政事情は予断を許さない状況である。

その中で、行政サービスの質を損なうことなく財政の健全化を図りながら諸事業を着実に進めたことを高く評価する。

## 反対 (渋谷登美子 議員)

令和6年度一般会計決算認定に反対します。

- 1 国立女性教育会館の協議では住民や利用者の実態を反映せず、町民・議会への説明が不十分でした。
- 2 子どもの貧困の実態把握・女性支援は町独自の実効性ある政策がない。
- 3 公の講座の講師支出は、公平性を欠いている。説明責任の不足、実態把握の欠如、公平性の欠落は町民の信頼を損なうため、認定できません。



決算現地調査=R7.9.11

(左) 第1・2・3水源浸水対策工事 (右) ラベンダー園事業

◎=委員長 ○=副委員長

## 広報広聴常任委員会

◎ 藤野和美 ○ 橋本将  
議長を除く全議員

## 文教厚生常任委員会

◎ 小林智 ○ 佐藤弘美  
竹内隆哲 橋本将  
藤野和美 森一人  
狄守勝義

## 総務経済常任委員会

◎ 畠山美幸 ○ 宮本大裕  
吉本秀二 青柳賢治  
川口浩史 渋谷登美子(右) 狄守勝義 議長  
(左) 吉本秀二 副議長

**議会体制が新しくなりました**

9月18日、議長・副議長の選挙、常任委員会委員の選任など、新しい議会人事構成が決定しました。

## 嵐山町立小中学校再編調査特別委員会

◎ 森一人 ○ 竹内隆哲  
議長を除く全議員

## 議会運営委員会(6人)

◎ 森一人 ○ 佐藤弘美  
畠山美幸 小林智  
藤野和美 橋本将

## 議会選出監査委員

青柳賢治

## 小川地区衛生組合議会議員

狄守勝義 小林智

※嵐山町、小川町、滑川町、ときがわ町、東秩父村の5町村により組織する一部事務組合。

## 比企広域市町村圏組合議会議員

狄守勝義 宮本大裕

※東松山市ほか比企郡内の7町村で組織する一部事務組合。

委員会構成はホームページでもご覧になれます



# 水道料金30%値上げ 下水道料金25%値上げ 浄化槽料金20%値上げ

令和7年  
第3回定例会  
(8月28日～9月18日)

【家庭用（13mm・20mm）】水量別新旧上下水道料金比較表【税込】（単位：円）

使用水量 (㎡)	水道料金		下水道料金		合 計	
	現行料金	新料金	現行料金	新料金	現行料金	新料金
10	1,100	1,990	2,200	3,300	3,300	5,290
30	2,860	4,380	3,630	5,335	6,490	9,715
50	5,334	7,740	6,710	9,625	12,044	17,365

上下水道料金2か月分（1回の検針分）による比較

## 議案第36号 給水条例の一部改正

令和8年4月（6月  
検針分）から水道料金が約30パーセント値上げになる＝表参照。

主な要因は、施設の

耐震性確保、老朽管路の更新、人件費並びに委託料の上昇。

家庭用・企業用料金収入比率

【改定前】  
家庭用40%  
企業用60%

【改定後】  
家庭用45%  
企業用55%

家庭用が負担増に。

Q 家庭用の値上げが大きいのは、

A 企業が全体の6割を負担しているため、負担割合を減らした。

## 議案第37号 下水道条例の一部改正

基本使用料、超過使用料について平均約25パーセントの値上げを行うもの。

Q 使用した水全てが下水道に流れていないので配慮が必要ではないのか。

A 個別の把握が困難と考える。

## 議案第38号 管理型浄化槽条例の一部改正

使用料を平均約20パーセント値上げを行うもの。

## 議案第47号 財産（学習者用タブレット端末等）の取得

小中学校学習者用タブレット等を調達するもの。

Q クロームブックを選定した理由は、

A 教員アンケート、価格等を勘案した。

## 議案第39号 一般会計補正予算

歳入歳出

6億4527万円追加  
総額76億3901万円

### 主な歳入

地方交付税交付額の決定に伴う補正  
2億8616万円

### 主な歳出

駅西ロータリー交通  
島設置工事（3か所）  
150万円

※交通島とは、車両の安全な通行を確保するため設置するもの

菅谷小学校体育館のLED化  
74万円

### 債務負担行為

学校給食センター調理業務委託  
(令和8～10年)  
1億8056万円  
(2026万円増)

## 議案第48号

工事請負契約（B & G海洋センター改修工事）の変更

屋根、照明改修工事に併せて外壁塗装工事を追加するもの。

Q 南側と西側の改修を行わない理由は、

A 立ち木があることにより、北側・東側に比べ劣化が進んでいないため。

## 同意第3号 教育委員会委員の任命について

安藤康正氏（新任）

船戸美津子氏の任期満了に伴い議会の同意を求めるもの。





# 令和7年 第3回定例会 審議結果

## 町長提出議案（賛否の分かれた議案）

全ての議案賛否は  
こちらからご覧に  
なれます



200号記念特集

決 算

議 案

一 般 質 問

委 員 会 報 告

議案 番号	議 案 名 ※●の網掛けは賛成討論、×の網掛けは反対討論を行いました	審議 結果	佐藤 弘美	竹内 隆哲	橋本 将	宮本 大裕	狩守 勝義	小林 智	藤野 和美	吉本 秀二	青柳 賢治	畠山 美幸	川口 浩史	渋谷 登美子	森 一人
議案 第36号	嵐山町給水条例の一部を改正することについて	可決	●	×	●	●	●	●	×	●	●	●	×	×	議 長
議案 第37号	嵐山町下水道条例の一部を改正することについて	可決	●	×	×	●	●	●	×	●	●	●	×	×	
議案 第38号	嵐山町管理型浄化槽条例の一部を改正することについて	可決	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	×	×	
議案 第40号	令和7年度嵐山町国民健康保険特別会計補正予算 (第1号) 議定について	可決	●	×	×	●	●	●	●	●	●	●	×	×	
議案 第41号	令和7年度嵐山町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号) 議定について	可決	●	×	×	●	●	●	●	●	●	●	×	×	
認定 第1号	令和6年度嵐山町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	
認定 第2号	令和6年度嵐山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認 定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	●	
認定 第3号	令和6年度嵐山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算 認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	●	
認定 第4号	令和6年度嵐山町介護保険特別会計歳入歳出決算認定に ついて	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	●	

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。 賛否同数の場合のみ「議長採決」として表明します（「裁」と記載）。

## 町長提出議案（全員賛成の議案）

議案 番号	議 案 名	議案 番号	議 案 名
報告 第4号	令和6年度嵐山町水道事業会計継続費繰越計算書の報告について	議案 第39号	令和7年度嵐山町一般会計補正予算（第2号）議定について
報告 第5号	令和6年度嵐山町健全化判断比率の報告について	議案 第42号	令和7年度嵐山町介護保険特別会計補正予算（第1号）議定について
報告 第6号	令和6年度嵐山町資金不足比率の報告について	議案 第43号	令和7年度嵐山町水道事業会計補正予算（第1号）議定について
報告 第7号	専決処分の報告について	議案 第44号	令和7年度嵐山町下水道事業会計補正予算（第1号）議定について
同意 第3号	嵐山町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	認定 第5号	令和6年度嵐山町水道事業会計決算認定について
議案 第30号	嵐山町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正することについて	認定 第6号	令和6年度嵐山町下水道事業会計決算認定について
議案 第31号	嵐山町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正することについて	議案 第45号	令和6年度嵐山町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
議案 第32号	嵐山町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正することについて	議案 第46号	令和6年度嵐山町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
議案 第33号	嵐山町子ども医療費支給に関する条例の一部を改正することについて	議案 第47号	財産の取得について（学習者用タブレット端末等）
議案 第34号	嵐山町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正することについて	議案 第48号	工事請負契約の変更について（嵐山町B&G海洋センター改修工事）
議案 第35号	嵐山町介護保険条例の一部を改正することについて		



# 一般質問

## 10人の議員が町政を問う

※本文は質問した議員本人の責任で要約した原稿を掲載しています。  
※各議員の質問動画はYouTubeにて配信しております。二次元コードによりご覧になれます。



### 1 吉本 秀二

質問事項 ◆千年の苑ラベンダー園の今後について

### 2 宮本 大裕

質問事項 ◆嵐山町消防団の維持強化について

### 3 橋本 将

質問事項 ◆嵐山のまつりについて

### 4 狛守 勝義

質問事項 ◆「らんざんラベンダーまつり」を終えて  
◆学校が子どもたちにとって、安心安全な場であるために  
◆本町の米や露地野菜の作柄状況について

### 5 畠山 美幸

質問事項 ◆リチウムイオン電池の取り扱いについて  
◆災害級の暑さへの町の対策について  
◆武蔵嵐山駅西口ロータリー完成に伴い、「菅谷東西線」の道路建設について

### 6 藤野 和美

質問事項 ◆マイナ保険証について  
◆観光地域づくり法人（DMO）について

### 7 青柳 賢治

質問事項 ◆町制施行60周年記念事業について  
◆多文化共生社会を目指す自治体とは

### 8 小林 智

質問事項 ◆固定資産税課税の公平性確保について  
◆ふるさと納税の実績と取組み方針  
◆嵐山町所在文化財の現況と活用について

### 9 川口 浩史

質問事項 ◆ふれあい交流センターについて  
◆交流センターについて  
◆ラベンダーまつりについて  
◆教育環境について

### 10 渋谷登美子

質問事項 ◆独立行政法人男女共同参画機構法施行について  
◆嵐山町太陽光発電の設置及び管理等に関する条例の改正  
◆ゼロカーボンシティ宣言の取組みについて  
◆小学校学校給食無償化について  
◆駅ボランティア導入について

## 議員提出議案

議案番号	議案名 ※●の網掛けは賛成討論、×の網掛けは反対討論を行いました	審議結果	佐藤弘美	竹内隆哲	橋本将	宮本大裕	狛守勝義	小林智	藤野和美	吉本秀二	青柳賢治	畠山美幸	川口浩史	渋谷登美子	森一人
発委第6号	嵐山町議会基本条例の一部を改正する条例の提出について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
発議第6号	人種等を理由とする差別的言動を禁止する法制定を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	●	●	
発議第7号	包括的差別禁止法の制定を求める意見書の提出について	否決	×	×	●	×	×	×	●	×	×	×	●	●	
発議第8号	人工芝およびゴムチップ舗装設置に関する規制を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	●	●	

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長採決」として表明します（「裁」と記載）。



よしもと 吉本 議員



## 千年の苑ラベンダー園の今後について

**問** 今年度のラベンダーまつりの収支、入場者数、有料駐車場台数は。

**企** 総収入981万521円、総支出896万3345円、差し引き84万7176円の黒字だった。ゲート入場者のみのカウントで、1万4862人だが、他からの入場者も相当数あったと認識している。普通車4556台、大型車30台、バイク13台。

**問** 今後の考えは。

**企** ラベンダーを中心とした観光農園として運営する予定である。作付け面積の見直し等を行い、管理が容易な体制の構築を考えている。

**副町長** こども計画でのアンケートでも、幼稚園から青少年に至るまで、他市町村に紹介したい場所、町の誇れるものになっている。いかに現実を踏まえて繋げていくかが町の大き

な課題だと考えている。

**問** ラベンダーにしっかり取り組むことが重要、四季折々の花の整備までマンパワーが足りているように思えない。

**企** どの程度の面積であればきっちり管理できるのか、もう一度見直しをし、その結果を待って、方向性を決めていきたい。

**町長** 運営方法について提言をいただき、イベント経費を大幅に抑え、黒字にできた。またイベント会場の土地を確保し、雨でもぬからない環境に整備できた点において大きな改善が図れた。花の育成状況で入園料を無料にしたということもあるが、今後の運営についても観光協会とともにしっかり打ち合わせをする中でやっていきたいと考えている。



成功の鍵はラベンダー園の管理=R7.6.22



みやもと だいゆう 議員



## 嵐山町消防団の維持強化について

**問** 《自分たちの町は自分たちで守る》尊い志を懐き、自分の仕事を持ちながら、日々訓練を重ね、危険な現場に駆けつけて、町民の命を守る消防団の活動環境について伺う。

**地** 消防団員は非常勤特別職地方公務員。団員定数110名(男性93名・女性7名・機能別団員10名)。女性団員は、消防団のPR・AED・心肺蘇生法・応急手当・住宅用火災警報器普及等の啓発活動に従事している。課題として、若手団員の消防車運転免許の取得、活動範囲の拡大による団員の負担増、将来的な団員の確保等があげられる。

**問** 学校における訓練の実演は。

**教育長** 社会科学習の一環として、消防団の活動を知らせていくことは意義のあることと考える。

**問** 外国人消防団員の起用は。

**地** 入団を歓迎する。

**問** 団員募集しやべる自動販売機・ラッピング販売機設置の考えは。

**地** B&G海洋センター、ふれあい・北部交流センターは生涯学習課の管轄であるため、設置は可能かと思われる。

**町長** 町は消防団を応援する。しゃべる自販機は楽しみながら広報活動ができるので、財源を考慮し検討する。こうして支えられている事実を、多くの子どもや町民に見て感じてほしい。消防団のトップとして、何よりも団員を家族のもとへ無事に帰すことが大事と考える。



嵐山消防団【公式サイト】

全国の消防士、消防団員の皆さんに心より敬意を表します。





はしもと まさ 議員  
橋本 将



## 嵐山のまつりについて

**問** まつりは地域文化の継承や住民交流の促進につながる。各イベントと町の位置付けは。

**企** さくらまつり・夏まつり実行委員会は商工会、嵐山まつりは町が事務局。ラベンダーまつりは観光協会と町の共催となっている。

**問** まつりの継続、支援についてどのように考えるか。

**企** 町としては、各実行委員会から要望があれば相談にのり、支援していくという姿勢。

**副町長** コロナ禍を経て実行委員会や区の負担が大きくなった。町としては開催して欲しいが、強制する事はできない。

**問** 都幾川桜堤みはラベンダー園と共に千年の苑だと思う。さくらまつりを共催にしてみてもいいか。

**企** 観光協会でイベント化の計画はある。

**問** 嵐山まつりは武者行列、文化展など、嵐山町の特色がでている。来年も又エックで開催できるか。

**企** 来年度以降の又エックでの開催は不透明。これから各部会で検討していく。

**問** まつりは各芸能の発表や体験の場で、文化継承に重要な役割を担っている。どう捉えているか。

**教育長** 古里の祭囃子（まつりばやし）を各校の小学生が参加できるようにしている。

**問** 町の賑わいの為に私自身も一肌二肌ぬぐ覚悟で望みたい。そういった人や団体への対応は。

**町長** まつりは地域の熱意。さくらまつりがそうだった。やりたいという決意を持ち、企画を町に確認したりすることがあれば、協力する事は全く問題がない。ぜひ実現して欲しい。



いずもり かつよし 議員  
伏守 勝義



## 学校が子どもたちにとって安心安全な場であるために

**問** 教員による児童生徒への性犯罪や性暴力が多発している。他市で起きたこととはいえ、このような状況をどう受け止めているか。

**教育長** 児童生徒に対する性暴力は「魂の殺人」とも言われ、被害者は、その後も長い年月にわたり苦しみが続く。決して許されるものではない。本町からは加害者も被害者も絶対に出不入という強い気持ちを持って対応していく。同時に、何処でも起こる可能性があるという危機感も忘れてはいけなく考えている。

**問** 県教育委員会から依頼の緊急点検の実施方法と結果は。本町の小中学校は、安心安全な場と言えるか。

**教育長** 町内全ての小中学校を対象に、校内の全トイレ、更衣室、教室、部活動の部室等について、不審物の有無、掲示物やポスターの管理状況、

鍵の管理、整理整頓の状態等を確認した。また、町独自の項目として、校内におけるスマートフォン等の使用ルールが整備されているかについても確認した。結果、不審物や不審箇所は確認されなかった。課題として、職員更衣室の施錠が見受けられたが、現時点では学校は子どもたちにとって安心安全な環境として認識している。

2学期以降も教職員への研修や目の届きにくい場所の改善、教室内の密室状態の指導を避ける等、具体的な指導を各校の管理職を通じて継続していく。

**問** 防犯カメラは有効だ。設置の考えは。

**教総** 有効性は認識している。不審者対策を目的とした設置は検討していく。一方、校内カメラ設置は慎重に判断していく必要がある。



「法務局LINEじんけん相談」  
友だち追加

友だち追加は  
こちらから！



はたけやま みゆき  
畠山 美幸 議員



## リチウムイオン電池について

**問** リチウムイオン電池を使用した製品（スマートフォン、加熱式たばこ等）の普及に伴い、ごみ収集・処理時の発火事故が全国的に増加している。町としても未然防止と対応体制の整備が課題である。町内のごみ収集車や処理場でリチウムイオン電池が原因とみられる火災・発煙事故の発生はあるか。

**環** 過去3年間で町委託による収集車及び小川地区衛生組合施設内での火災・発煙事故は発生していない。

**問** リチウムイオン電池を含む小型充電電池製品の分別ルールをどのように定めているか。

**環** デジタルカメラ等で電池が取り外せる場合、本体は金属類、電池は有害ごみとして分別をお願いしてい

る。モバイルバッテリー等、本体が取り外せないものは、そのまま有害ごみとして出すよう周知している。膨張・変形したものは発火の危険があるため、小川地区衛生組合へ直接持込みをお願いしている。

**問** 家庭ごみとしての誤排出を防ぐために、拠点回収（町施設や店舗等）での安全な回収体制は整っているか。

**環** ごみステーション回収の他、町内では一般社団法人JBR C回収協力店が1か所あり、店員確認のうえ安全に回収している。



出典：埼玉県ホームページ

衛生組合まで持って行くのは大変な方もいる。対応が必要。



ふじの かずみ  
藤野 和美 議員



## マイナ保険証について

**問** マイナ保険証の登録状況は。

**町** 3月現在で、国民健康保険2160人、後期高齢者医療保険2362人となっている。

**問** 国民健康保険の加入者全員に資格確認書を交付する考えは。

**町** 一律交付する予定はないが、マイナ保険証を持っている方でも申請があれば交付する。

**問** 国税の滞納世帯への対応は。

**町** 納付期限から1年以上未納で、複数回納付に資する取組を行っても何の連絡もない世帯へは、窓口負担が10割で、事後に申請により町から7割分の特別療養費の支払いを受けることができる資格確認書（特別療養）を交付している。

**問** 窓口10割負担は重く、受診控えになるのでは。

**町** 申し出により、支払いが困難な特別な事情に準ずる状況と判断でき

れば、通常の資格確認書を交付する。

## 観光地域づくり法人について

**問** 登録申請の状況は。

**企** 8月8日付で申請をした。

**問** 登録のメリットは。

**企** 関係省庁による各種支援メニューの提供やアドバイスを受けることができ、事業費補助金もある。

**問** 観光資源の活用について、町民の協力を得る考えは。

**企** SNS等で意見を募ることも検討していきたい。

**問** 町民参加の取り組みは。

**企** マイラベンダークラブや手芸施設での講座開催、クラウドファンディングなどをおこなっている。

**問** 他の自治体との関係強化は。

**企** 東松山比企広域観光推進協議会での取り組みや板橋区などへのお祭り参加などをおこなっている。



嵐山溪谷バーベキュー場の様子=R7.9.23





あおやぎ けんじ  
青柳 賢治 議員



## 多文化共生社会を目指す自治体とは

**問** 「埼玉県多文化共生推進プラン」に記載されている市町村の役割推進についての取り組みを聞く。

**答** 埼玉県多文化共生推進プランにおいて、市町村窓口における手続の機会等を活用し、外国人住民への効果的な情報提供や地域活動への参画促進に取り組むことが望まれるとの記載がある。町では、従前より町民課に翻訳機を設置し、窓口での手続に関し、コミュニケーションの向上を図っている。また、ごみカレンダーは、4か国語の多言語表記、ホームページでは7か国語に対応している。第6次総合振興計画は、後期5年の計画期間に向けた改定作業を進めており、外国人住民に対する施策を盛り込む予定である。

## 町制施行60周年記念事業の内容は

**問** 町制施行60周年記念町歌作成の進捗と工程は。

**答** 選定委員会を設置し、制作を進めている。9月より歌詞を公募し、作曲は、編曲・アレンジ等を含め制作を依頼する方向で進めている。

**問** 60周年事業の予定、企画は。

**答** 町制施行60周年を迎える令和9年度には、各種記念事業を実施していきたいと考えている。庁内のプロジェクトチームで、実施する事業について検討する予定となっている。嵐山町民の一人ひとりが、より一層の誇りと愛郷心を持っていたく機運醸成の機会ととらえ、記念事業を企画する。

「嵐山町の外国人登録者数  
(R7年4月1日現在)」  
男371人、女419人、合計790人  
単位(人)

ベトナム	359
ブラジル	120
インドネシア	49
カンボジア	46
中国	37
その他	179

## 指定外の文化財の調査、評価について

**問** 指定されていない文化財のなかにも貴重で重要な文化財もある。調査・評価は行われているか。

**答** 嵐山町博物館編さん事業において、全町におよぶ悉皆調査を実施。しかし、漏れているものもあると考えられ、引き続き調査を行う必要がある。現在指定されていないものでも、新たな資料等が確認されれば、その重要性和保護を検討していく必要がある。

**問** 指定文化財の活用と今後の方針は。

**答** 文化財には学術的なものとして後世に残していく面と、広く公開し観光として活用していく面がある。現在、史跡杉山城跡保存活用計



こばやし さとし  
小林 智 議員



**問** 文庫省で推進している「文化財保存活用地域計画」の取組みは。

**答** 子どもたち向けには、子ども大学にて「嵐山再発見ツアー」を実施している。町内町外問わずこを回ってみたいと思うマップや資料を作成することは大事なことで、その元となる「保存活用地域計画」もしっかり念頭に置いて文化財の活用に参加できるように取り組んでいきたい。



七郷地区神社の彫刻（文化財未指定）

環境課長

町民課長

企業支援課長



かわぐち ひろし 川口 浩史 議員



## ふれあい交流センターについて

**問** 平成23年に大規模改修工事を終えた「ふれあい交流センター」が雨漏りをしている。雨漏りはいつからか。

**生** 平成28年から発生している。

**問** 原因は。

**生** 旧庁舎との継ぎ目部分に構造上弱い部分があり、雨漏り箇所が集中している。また、防水シートが途中でしか覆われておらず、横風が強い状況では雨が壁内に流れ込んでしまふ恐れがあること。更に、外壁塗装が劣化し、亀裂個所から雨が浸透してしまふ恐れがあることが想定されている。

**問** 維持管理はどのように行ってきたのか。

**生** 令和2年まで専属職員が勤務し、日頃の管理を実施してきた。3年からは会計年度任用職員1名の勤



ふれあい交流センター

出典：嵐山町ホームページ

務体制による貸館業務のみ事務所で継続し、日常の管理は生涯学習担当が現地に出向いて実施している。なお、清掃や資格が必要な業務は委託して実施している。

## 学校再編後の教員数について

**問** 学校再編後、今より教員は何人少なくなるのか。

**教** 確定的ではないが、小学校で15人、中学校で2人少なくなるとみている。

**問** さわやか相談員は何人になるのか。

**教** さわやか相談員は各中学校に1人ずついるので現在2人いる。再編後、中学校は1つになるので1人になる見込みである。



しぶや とみこ 渋谷 登美子 議員



## 武蔵嵐山駅に駅ボランティアを

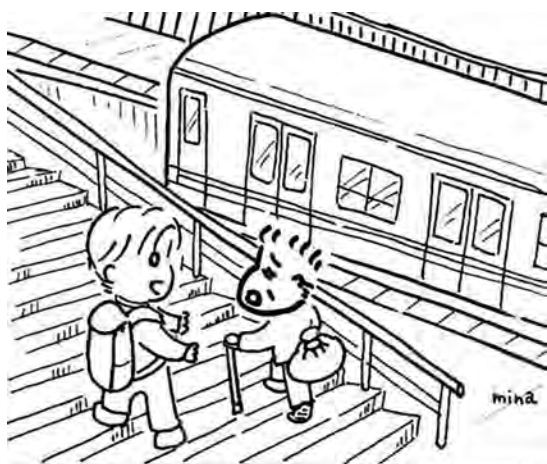
**問** 武蔵嵐山駅の1日平均乗降人員は6487人で、小学生の通学でも利用されている。過去に視覚障害者の方がホームから転落する事故もあった。駅構内にある場所を活用してボランティア講座を開き、住民や学生を対象に駅ボランティア導入をすべきでは。

**福** 駅ボランティアは、国交省が推進する「地域サポートアシスタント」として重要な役割だが、鉄道事業者との協議が不可欠である。また、視覚障害や車椅子等、多様なニーズに対応するには研修が必須で、国立リハビリテーションセンターや防衛医科大学病院がある先進地の所沢市でも修了者のみが活動している。心の

バリアフリーの研修を含め、安全面から慎重な導入が必要と考える。

**問** 町でも所沢市のように、年2回研修を行い、高校生や住民を巻き込めば十分可能と考える。滑川町や東松山、小川町など周辺自治体と連携すれば、東武鉄道に対しても強い働きかけができるが。

**福** 駅構内は鉄道事業者の責任範囲であり、ボランティアは補完的役割にとどまる。東武鉄道が駅ボランティアをどう認識しているか確認し、その上で検討していく。



生涯学習課長

教育総務課長

福祉課長



## 総務経済常任委員会

(7/9・18・8/7)

### 地域交通のあり方について

#### 【町への提言】

- 1 地域公共交通全体を俯瞰し、町の特徴を踏まえた課題解決を行う「地域公共交通会議」の早期着手
- 2 「地域交通」「町民の移動手段確保」を目的として、「福祉」だけに拘らず横断的・総合的に取り組む仕組みづくり
- 3 南北に長い地理的特性・病院施設・教育施設等の近隣市町村への依存・交流などの社会的特性を踏まえた地域交通の広域での検討
- 4 直営・無料の会員登録方式によるデマンドバス、または民間事業者委託型デマンドバスの検討
- 5 福祉施設バス、送迎車、個人ボランティア等の共用を視野に置いた幅広いデマンド交通事業の検討
- 6 高齢者等の移動手段の支援としてタクシー補助事業の必要範囲での継続

### 地域産業の活性化への取り組みについて

駅西口の活性化について、次のとおり行政の取り組みを求める。

- ・JA跡地は駅西口活性化の肝。町の方向性を出してもらいたい。
- ・JA跡地は場所が良い。屋形横丁形式での出店や軽トラマルシェ、キッチンカー等の駅前広場利用との併用により、更なる効果が望める。
- ・駅を利用する観光客の休憩所や買い物施設があると良い。
- ・跡地について、JAとの意見交換を早めにやるべき。



北本市デマンド交通視察＝R7.7.9

## 文教厚生常任委員会

(7/7・17)

### 子どもの権利について

子どもの権利について、試行錯誤しながら調査・研究を重ね、子どもの意見表明権を議会基本条例に加えるための条項をまとめることができた。

新島一彦氏と木附千晶氏を迎えた講演会では、子どもの権利に関する条約の狙い、特に第12条の意見表明権の真にめざしているところを知ることができ、大きな成果であった。意見表明権をベースにした様々な政策に対し、身近な大人と子どもとの関係性を保障し続けることをどのようにして盛り込んでいくのか、ということは行政に対する課題の1つである。

#### 【町への提言】

「子ども計画の各課に回る計画について、年度ごとの検証および計画の見直しに際し、議会に報告することとする。



講演会「子どもの権利条約について」＝R7.7.7（役場会議室）

各委員会報告書はこちらからご覧になれます



# 嵐山町立小中学校再編調査特別委員会

(7/14・30)

小中学校再編に伴う教育保障・地域振興・財務計画等について

●スクールバス、通学路の進捗状況について

【学校統合推進課ヒアリング内容】

北部のスクールバスエリアは、「小学校生は七郷小学校区全体、中学生は古里地区」という事務局案を示し、検討してきた。しかし、再編調査特別委員会や保護者、通学安全部会委員からの意見・要望を勘案し、また、通学における実地調査を踏まえた上でバスエリアの再検討をしたい。今後、資料を精査して引き続き検討を重ね、北部のバスエリアを検討していく。

●主な質疑

Q 南部の遠距離通学者もスクールバスの範囲に入っているのか。

A バスの範囲は決定事項ではない。委員から南部地区にもバスを出して欲しいという要望はある。町の財政計画の中でどこまで可能かを考える必要があるため、その運用経費の試算を行っている。

●新設校舎について

【滑川町立月の輪小学校行政視察】

「モンブ導入校舎の校内視察を行った。」

●主な意見

・デンの考え方は、教育理念の中で大きな位置づけをもっている。  
・広々として開放感があり、学びの場として良い。  
・「豊かな心を育てる」という教育理念が校舎に反映している。

※デン・友達と語ったり、寝転がって本を読んだり、自由に使えるあずまのような場所。



デン（写真左）のある広々とした校舎  
＝R7.7.30

小川地区衛生組合議会

8月19日、小川地区衛生組合議会が小川町議場において開会され、提出された4議案は全て原案通り可決された。

主な議案

●一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出	2億311万円増額
総額	18億1039万円
●令和6年度一般会計決算認定	
収入済額	17億8084万円
支出済額	15億4772万円
歳入歳出差引残額	2億3311万円

比企広域市町村圏組合議会

8月7日、比企広域市町村圏組合議会が東松山市議場において開会され、提出された13議案は全て原案通り可決された。

主な議案

●令和6年度消防特別会計決算認定

・消防指令業務共同運用負担金 2836万円

Q 「埼玉西部地域消防指令センター」運用後、通報から救急車出動までの時間はどう変化したか。

A 装置の高機能化やマニュアルの整備等により1分18秒短縮した。

次回定例会は 11月28日(金)開会の予定です。皆様の傍聴お待ちしております。  
請願・陳情は 11月20日(木)午後5時までに提出してください。

編集後記

このたび「議会だより」は記念すべき200号を迎えました。昭和の創刊以来、半世紀以上にわたり発行を続けられたのは、町民の皆さまに読み支えていただいたおかげです。心より感謝申し上げます。町議会の活動を「分かりやすく、身近に」お届けすることを目指し、編集委員一同工夫を重ねてまいりました。これからも町民の皆さまの声に耳を傾け、より親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。（畠山）



まん珠沙華は彼岸花の別名。サンスクリット語に由来し「天界に咲く花」という意味があります。